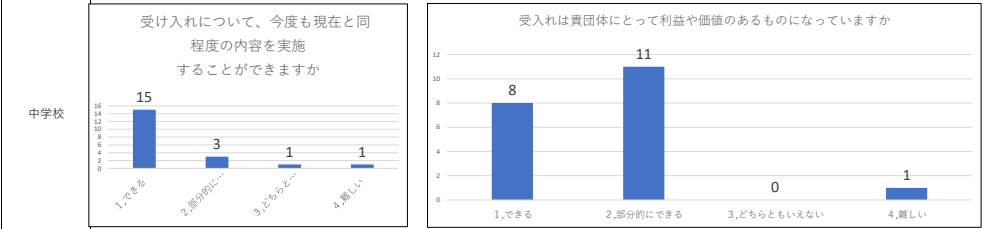


令和6年度長期宿泊体験活動における現地アンケート集計結果

番号	校種	問1 セカンドスクールの受け入れについて、今後も現在と同程度の内容を実施することが出来ますか。1つ選んで○を付けてください。 1,できる 2,部分的にできる 3,どちらともいえない 4,難しい	問2 問1で選んだ理由を教えてください。	問3 セカンドスクールの受け入れは、貴団体にとって利益や価値のあるものになっていますか。1つ選んで○を付けてください。 1,受け入れは利点が多く、負担は少ない 2,受け入れは利点が多いが、負担も多い 3,受け入れは利点が少なく、負担も少ない 4,受け入れは利点が少なく、負担は多い	問4 問3で選んだ理由を教えてください。	問5 今後のセカンドスクールについて、受け入れ先として心配していることやより充実させていく提案、ご意見・ご感想などありましたら教えてください。
1	小		1 数年間はできると思う		2 宿の負担をなるべく軽く、学校訪問をなくしてもらうとよい	心配なのは宿の経営者の高齢化。子どもたちの心身成長に貢献していると思う。
2	小		1 長期宿泊はありがたい		2 売り上げは多いが、事前準備、仕事が多い	自分の体力が心配。
3	小		1		2 稲刈りの準備から片づけがとても大変。休む暇がない。時間短縮をお願いしたい。	宿元がマイクロバスを運転することが高齢化もあり心配。安全重視でプロに任せるとよい。
4	小		1 指導員に助けられている。2名についているので可能。		2 小学生からたくさんのパワーをもらう。夏合宿と秋山シーズンの間で収入の少ない時期であるため。	宿元の高齢化で、一緒に活動することが難しい。ハイキングは外注などではどうか。
5	小		1 手伝ってくれる人がいるのでできる。		2 マイクロバスの手配が高齢化になり大変。	アレルギー対応に悩む。程度状態をはっきり教えてほしい。
6	小		2 後継者が未定のためいつまでできるか？		2 子どもたちについていくので精一杯	2日位昼食を減らしたり息抜きできる日がほしい。
7	小		1		2 受入れは続きたいが、体力的には自信がない	
8	小		3 続けたいが体力的に不安。農場体験などはアルバイトでおぎなえない内容のため。		2 左記と同じ	保健の先生が、ボカリやOS1をもっておらずこちらで対応したケースがあったので準備を整えてほしい。
9	小		1 子どもにとって何よりの経験である。		2 イベントや連休がからむと宿としてはきつい。	協力させていただきます。
10	小		3 高齢の母と営んでおり自信がない。		2 高齢化が心配だが、学校に来てもらうことは本当にありがたい。	戸狩全体を通して高齢化が進んでいる。受入れ宿の維持が厳しい。できるだけ受け入れられるように、活動の分業化、プロドライバーの確保 プログラム内に観光を入れる、お小遣いによる買い物などを行う。
11	小		2 行程が多く時間に追われる 5泊6日の日程を要検討		2 ドアを開けたままの指示があるが暑さ対策で心配がある	児童の情報について、指導員・宿とも共有してほしい。
12	小		2 受入れ宿が減り、一宿の人数が増えることを懸念される		1 本部宿のため、大人料金として値上げしてほしい。	9月中旬は暑いので、下旬スタートがよい
13	小		1 受入れ体制がととのっている		2 料金をあげるか、利用人数をふやしてほしい	活動に自由時間をふやすとよい
14	小		3 高齢化のためいつまで続けられるかわからない		2 宿元のマイクロバス運転が心配	子供の体調・アレルギーが一番心配
15	小		1 子どもたちとの出会いは楽しい		2 歳を取り子どもたちとの生活の温度差が気になる。生徒が自分たちのことで不満に思っていないか気になる。	子どもたちとの出会いは楽しい
16	小		1 宿や指導者確保は厳しいが、学校とのコミュニケーションがとれ、その都度工夫で来ているので。今後も可能。		2 利点は大きく、過疎が進む中、都市部との交流で活力を得られるが、負担は大きい。物価高騰による事務局経費削減があった。	友好交流都市として、地域同士の大事な交流である。単なる体験実施地でなく、人との月会を大事にしたい。二小の中で引き継いでほしい。指導員の事前研修で、ファーストエイド、安全管理をするなどよい。予算組のスケジュールを教えてください。
17	小		3 高齢となり、子どもが満足できる案内や接待ができるか心配		2 客の少ないシーズンのあので収入があるのはうれしい。光熱費、食費が値上がりしている。	アレルギー対応に悩む。
18	小		2 稲刈りと脱穀の日、残暑が厳しく体力的に心配であった		2 毎日の戸外学習が高齢の宿元には負担	稲刈りでは、指導員に積極的な手伝いをしてほしい。
19	小		1 家族に協力者が若いため、受け入れが可能。		2 体験に同行することを減らしてほしい。	バス移動しなくても、宿の周りに歩いて体験する場所があると思う。日程を後ろにしてほしい。
20	小		1 子どもとのかかわりが楽しいので、体力が続く限りやりたい。		2 準備や引率の負担はあるが、長期滞在は他にないため。	H9から受け入れている。人間性豊かな人に成長するために、力になりたい。
21	小		3 高齢化が進んでいる。宿泊は可能だが、マイクロバスの運転が難しくなってくる。営業車を手配してもらいたい。		2 宿元にも休みが必要。生活指導員のスキルを上げてほしい。	事故が起きることを考えると、プロドライバーの導入が必須だと思う。
22	小		3 高齢化のため		4	宿元の身体が心配。泊数を3日程度にしてほしい。アレルギー情報がほしい。帰りの弁当の食中毒心配。
23	小		1 去年、今年とできたので。		2 天候次第なので、気持ちがいちがかった。	かなり忙しい日程だが子どもは嬉しそうだった。体調を崩す子もいたが、先生がフォローしていた。
24	小		4 労働力不足のため 家族2名のためイベントや急病対応が難しい		2 たくさん気づきから学ばせてもらうことが多い。急病対応、宿別体験の負担あり。	宿への配慮からセカンドの意義がうすれているので、屋外活動でなく屋内活動を考えてもよい。
25	小		1 9月はスケジュールに余裕がある また9月は涼しく過ごしやすい。		1 時間、献立が決まってお助かる。子どもたちの手伝いや片付け、声掛けがうれしい。	暑づくり、ちまき、笹団子と忙しいが、充実していた。
26	小		1 楽しみながら活動できる。		1 指導員が男女1名ずついるので、生活の手助けが助かる。	今後も続けてほしい。
27	小		2 年齢があがり、希望通りに行くことが難しくなってきた。体験を一部外部委託してもよい。		2 年齢があがり、希望通りに行くことが難しくなってきた。体験を一部外部委託してもよい。	高齢化、体験コンテンツの見直しが必要
28	小		1 宿のみんなはライフワークとなっている。ただ今後内容は変わってくることもあるかもしれない。		1 本部任せにしている部分を学校や本部の形になるなら、指導課や本部の形は難しく協会が関わるべき	地区に行く全学校や受け入れ側の声を一同集める反省会があるとよい。他地区とも交流をしたい。

29	小	1	元気でいるうちはやりたい	1	他市のスポーツクラブ受け入れをしており、子どもになれているため、負担ではない。	事故のないように祈っている。																				
30	小	2	年齢が理由。山登りはできないことがある。	2	組合として利点多い。宿としては、田んぼの収穫などの金居合で多少の負担はある。	学校の要望、組合の受け入れがあれば、あるべく続けたい。																				
31	小	2	ハイキングなど歩くことが難しくなった。	2	泊数が多く利点が多いが、食事の負担が多い。	出発前から十分な健康調査をしてほしい。																				
32	小	1	問題なし	1	問題なし	五小と本宿小の間の休日がほしい。																				
小学校 受け入れについて、今度も現在と同程度の内容を実施することができますか <table><caption>受け入れについて、今度も現在と同程度の内容を実施することができますか</caption><thead><tr><th>回答</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1,できる</td><td>18</td></tr><tr><td>2,部分的にできる</td><td>7</td></tr><tr><td>3,どちらともいえない</td><td>6</td></tr><tr><td>4,難しい</td><td>1</td></tr></tbody></table> 受け入れは貴団体にとって利益や価値のあるものになっていますか <table><caption>受け入れは貴団体にとって利益や価値のあるものになっていますか</caption><thead><tr><th>回答</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1,できる</td><td>6</td></tr><tr><td>2,部分的にできる</td><td>25</td></tr><tr><td>3,どちらともいえない</td><td>0</td></tr><tr><td>4,難しい</td><td>1</td></tr></tbody></table>							回答	件数	1,できる	18	2,部分的にできる	7	3,どちらともいえない	6	4,難しい	1	回答	件数	1,できる	6	2,部分的にできる	25	3,どちらともいえない	0	4,難しい	1
回答	件数																									
1,できる	18																									
2,部分的にできる	7																									
3,どちらともいえない	6																									
4,難しい	1																									
回答	件数																									
1,できる	6																									
2,部分的にできる	25																									
3,どちらともいえない	0																									
4,難しい	1																									
1	中	1	今までの受け入れで問題がなかったから。	1																						
2	中	1	1泊2日であったら可能。	2	生徒が年々変わってきており、受け入れる側の心のボリュームがないとできない。	セカンド前に、あいさつ、片付けなどの生活の基本的なことを勉強させてほしい。戸を開けたまま、エアコンをかける、ゴミをフロアに捨てるなどの一部の子がいる。																				
3	中	1	無理なく楽しくやれている	1	今回の男子は元気で、コミュニケーションも取れて楽しい。農作業もがんばっていた。	今後も続けさせてください。農に触れることの少ない都会の子どもたちには必要な事業だと思います。																				
4	中	1	安曇野市農家民宿協議会の経験・工夫から続けていけそう。食事メニューが決まっている等で、1泊2日3食までは大丈夫。先生たちの見回りで中だるみが防げてよい。	2	一人で受け入れているため、目の届かないところは申し訳ない。今回は手伝いが1名おりうまくできた。交流はとても楽しかった。収入的にも感謝している。	野外での暑さ対策が心配である。時間帯や日程の変更、屋内での内容にするなどもよい。																				
5	中	1	今以上の内容（人数、食事など）を実施するにはマンパワーやキャパの都合で難しいが同程度であれば可能	2	慢性的な人手不足ではある	9月の受け入れは台風や稲刈りと重なるため、民泊の受け入れ先が少なくなる懸念がある																				
6	中	1	夫婦ともに30代40代なので、受け入れ可能	2	学生との触れ合いは楽しい農業体験を味わってもらえたらと参加している。食事の準備が大変。	2泊3日案を聞いた。2泊は大変で食事の際には別のところに言って食べてもらうならできる。																				
7	中	2		2		子どもたちの笑顔には報われるが、南魚沼市観光協会との間でセカンドへの温度差があり例年のような受け入れがスムーズにいかない。																				
8	中	1	信州のすばらしさを体験させてあげたい	1	朝から翌日の11時までだったので	今まで通りの日程でゆったり過ごせてよいと思う																				
9	中	1	体力的にまだ続くと思う	2	準備が必要なため手がかかる	生徒の元気な姿から力をもらう																				
10	中	1	農作業への理解が得られ、勉強になる。	1	1泊2日程度なら負担は少ない	受け入れ農家の数がまだ少ないのが心配。農家の付き添いで飲食店を回ったり、自由行動して行動範囲を広げてもよい																				
11	中	1	子どもたちとの交流は楽しい	1	自分たちの現在を見直すことにもなる	受け入れ側の仲間をもっと増やしたい。																				
12	中	1	まだ3～4年は大丈夫	1	9月はこの時期で変わるものがない																					
13	中	3	観光シーズンで予約が入る。今年はたまたま空いていた。	2	子どもの行動に目が離せない。虫や猿がいる。	1名、子供の世話をする人を付ける必要がある。一人雇用しないといけない。子どもに実行させるのは困難。あてにならない。																				
14	中	1	ここ数年受け入れているので様子が分かるため。	1	ここ数年受け入れているので様子が分かるため、予定が立てられ負担が少ない。	暑さで熱中症が心配なため、日程を再考してほしい。																				
15	中	1	他にもいろんな学校の生徒を受け入れて問題なかったから	2	生徒も多様で、期間中の責任が大きいので。年齢差があると難しいと感じることがあるので。	旅行客気分の生徒に対してギャップがあるので教員に指導してほしい。知らない場所や事に興味を持ってほしい																				
16	中	4	体験・食事回数が多いこと、宿の高齢化、料金据え置き、キャンプファイヤー実施が負担	4	収入があるので行っているが、労働に見合っていないのではないかと。	仕事にあった宿泊料金を提示し、継続することが本来の在り方ではないかと。																				

17	中	2	現在の年齢での対応は可能だが、5から10年後を考えると②となる。		2	食事の用意、プログラム対応と多忙で体力的にきつい。田舎暮らしの良さに気付かせたり、自然の豊かさに気付かせてもらったりする。	自分たちの体力が心配。
18	中	1	2泊一緒に体験や会話をする事で変化がみられるため。		2	アレルギーや好き嫌いが多い。	家族や学校以外の人や地域と変わる体験はとても大事だと思う。
19	中	2	子育てをしながら中学生の世話をするのは負担が大きい		2	収穫期で忙しい時期だが、中学生には任せられない作業が多かった。	農業体験にこだわらず、ホームステイ体験のみでもよい。
20	中	1	りんごの作業があるので		1	子供のとのつながりが楽しい。リンゴの作業があればいつもの民泊なので負担はすくない。	民泊でつけさせたい能力などがわかるとよい。



9/26までの分析

○中学校は、泊数が少ないため、負担少ないとの回答が多い。

○受け入れができる理由として、宿の方が比較的若い、統一された食事メニュー、バイトを含めた受け入れ体制が整っていることがあげられる。

○受け入れに心配な理由として、高齢化、料金、マイクロバスの運転、子どもの健康面（熱中症、アレルギー）があげられる。

○提案として、マイクロバスの運転ドライバーの確保、体験の外部委託、屋外から屋内体験に変更、ゆとりあるプログラムの実施、他の受け入れ地との情報共有などの意見があった。